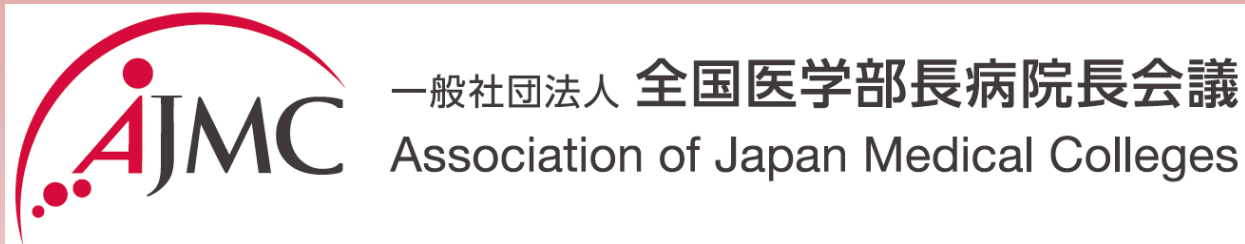


本件問合せ先
(一) 全国医学部長病院長会議事務局
TEL 03-3813-4610
FAX 03-3813-4660
Mail info@ajmc.jp

新型コロナウイルス感染症に関する 大学病院の経営状況調査(8月度)

令和2年11月17日



はじめに

先月に引き続き、新型コロナウイルス感染症患者受け入れに伴う病院の経営状況を把握するために、患者数や収支状況についてのアンケート調査を行ったので、その結果を報告する。

調査にあたっては、一般社団法人国立大学病院長会議及び一般社団法人日本私立医科大学協会の協力を得て実施した。

また、データの集計においては、前回までの調査データ修正も併せて行い、より正確性を期すようにした。

今回の調査では、8月に入っても患者数や手術件数は7月と同様の状況が続いているが、医業費用の減少が多少見られ、それに伴い収支状況はわずかだが回復が見られる。しかしながら、患者数や手術件数の回復とそれに伴う病床稼働の改善見られず、4月からの対前年度の累積損益は959億円と拡大してきている。

新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金の支給が始まってはいるが、依然厳しい経営状況にあり、COVID-19患者の受入れに限らず、他の重症患者への医療提供をも担っている大学病院の機能回復・維持のための一層の財政支援を強く要望する。

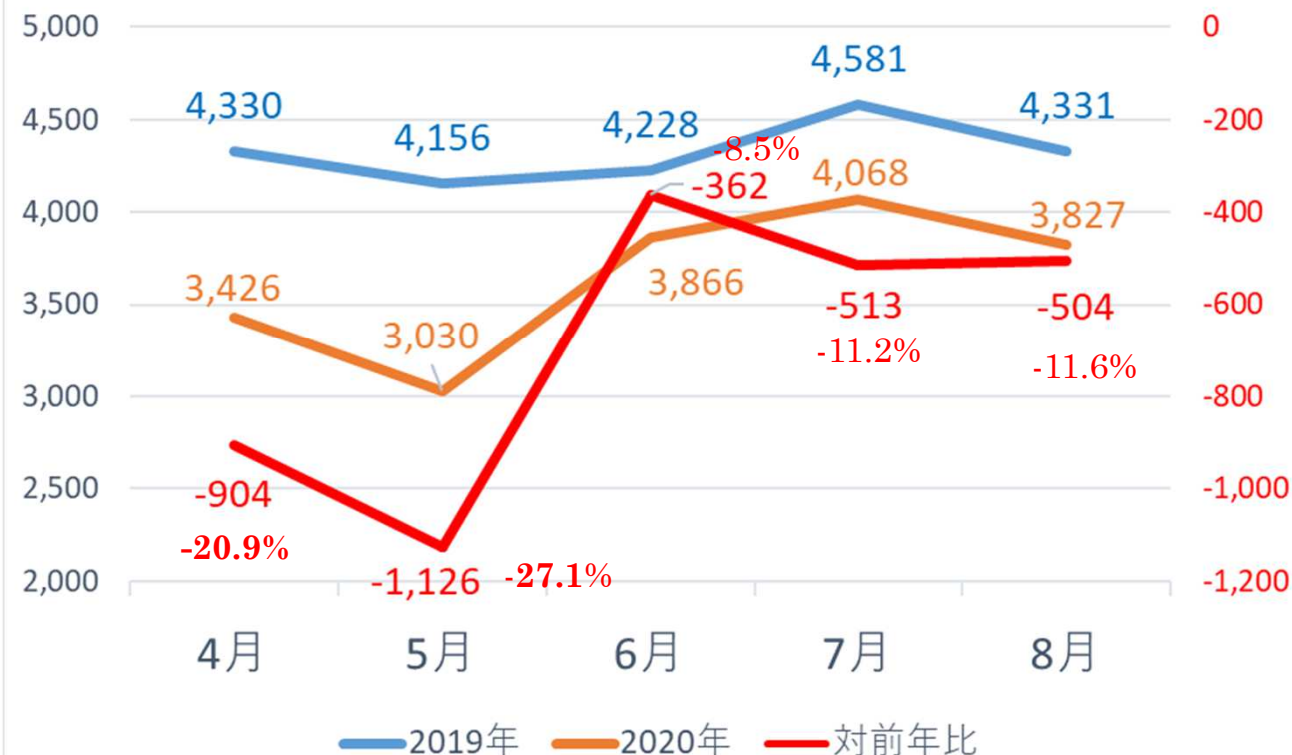
調査 対象 病院数	国立大学病院	43病院	
	公立大学病院	9病院	(分院1病院を含む)
	私立大学病院	86病院	(分院55病院を含む)
	合 計	138病院	
調査時期	令和2年10月6日～11月4日		

新型コロナウイルス感染症患者の受け入れに伴う前年度との経営比較【外来患者数】

有効回答病院数：137病院

外来患者延数の推移

(単位：千人)



延患者数減少数

外来
延患者数

-15.8%

-3,410千人

初診患者数

-27.5 %

-395千人

外来患者数は、6月以降ほぼ横ばい状態であり、4・5月の落ち込みを回復できない状況にある。

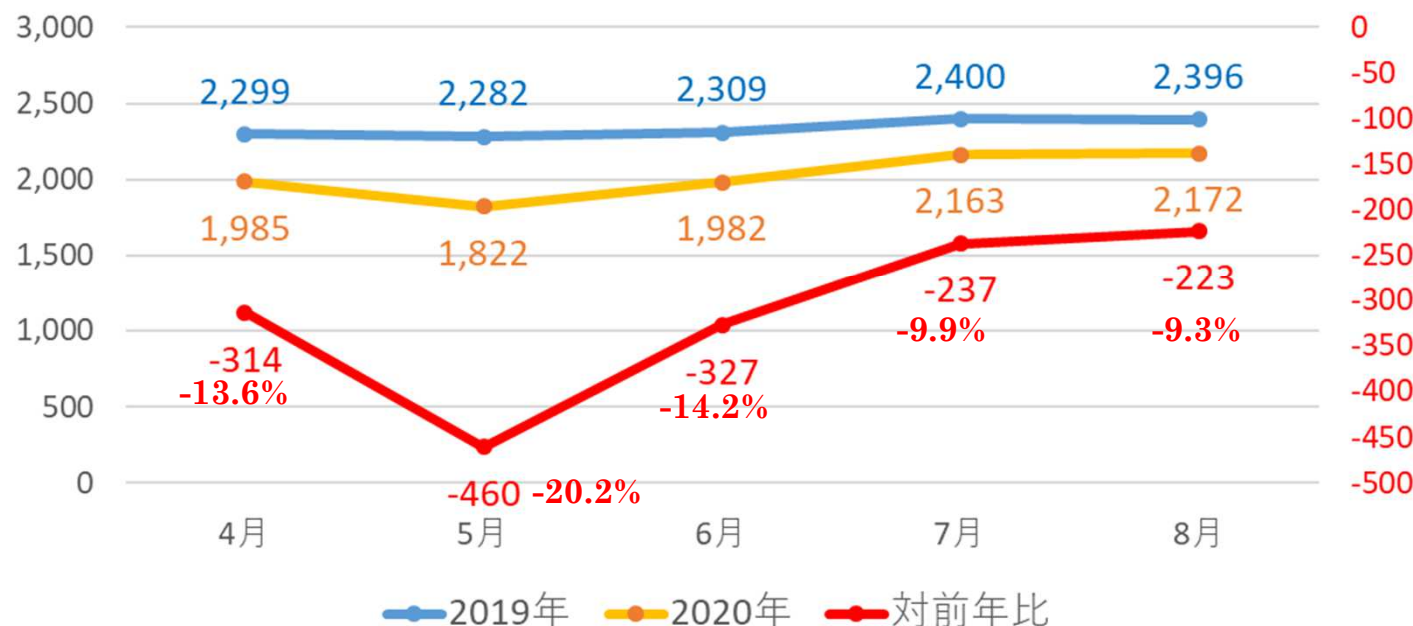
区 分	4月			5月			6月			7月			8月		
	2019年	2020年	前年比	2019年	2020年	前年比	2019年	2020年	前年比	2019年	2020年	前年比	2019年	2020年	前年比
外来診療日数(日)	22	23	1	21	20	-1	22	24	2	24	23	-1	23	22	-1
外来延患者数(千人)	4,330	3,426	-904	4,156	3,030	-1,126	4,228	3,866	-362	4,581	4,068	-513	4,331	3,827	-504
初診患者数(千人)	277	167	-110	274	153	-121	281	225	-56	314	254	-60	289	242	-47
1日当患者数(人)	1,463	1,131	-332	1,471	1,120	-351	1,415	1,207	-208	1,441	1,317	-124	1,387	1,264	-123

新型コロナウイルス感染症患者の受け入れに伴う前年度との経営比較【入院患者数】

有効回答病院数：137病院

入院患者延数数の推移

(単位:千人)



入院延患者数減 (4月～8月累計)

新入院患者数

-15.8%
-137千人

入院患者延数

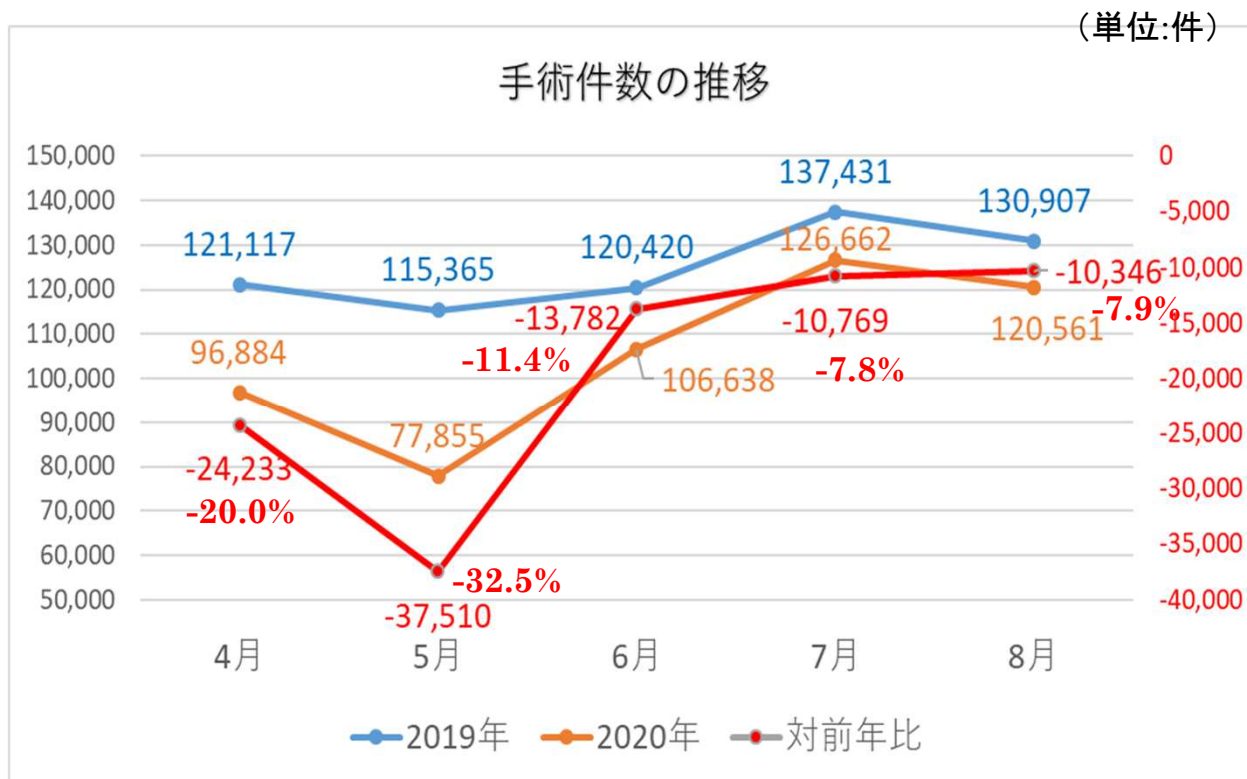
-13.4%
-1,561千人

入院患者延数は、ほぼ横ばいだが、手術件数の減少により病床利用率は依然厳しい状況である。

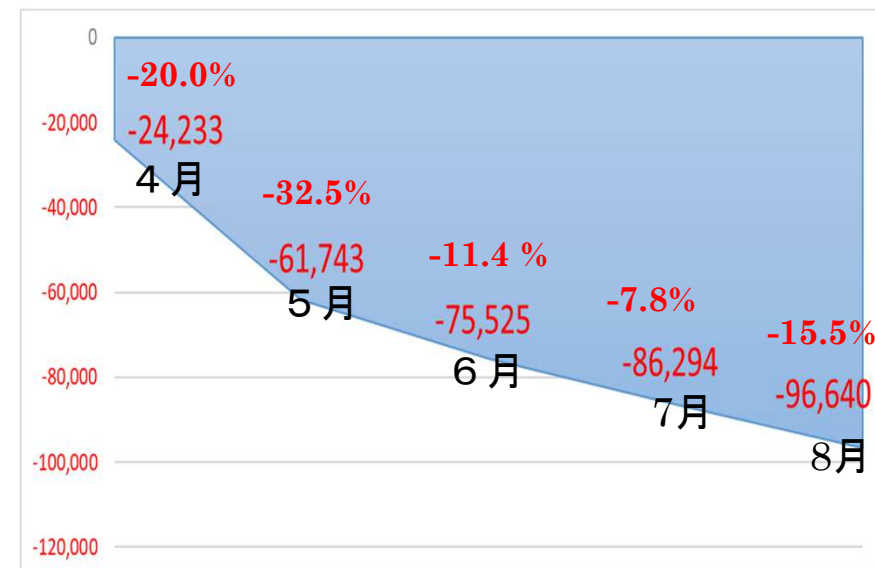
区 分	4月			5月			6月			7月			8月		
	2019年	2020年	前年比	2019年	2020年	前年比	2019年	2020年	前年比	2019年	2020年	前年比	2019年	2020年	前年比
月末許可病床数	90,603	90,776	173	90,683	90,945	262	90,894	90,980	86	90,813	91,199	386	90,683	91,182	499
在院患者延数 (千人)	2,127	1,841	-286	2,123	1,702	-422	2,138	1,841	-297	2,222	2,004	-218	2,212	2,008	-204
新入院患者数 (千人)	168	135	-33	167	118	-49	169	151	-18	185	161	-23	177	164	-14
退院患者数 (千人)	172	144	-28	159	120	-39	172	141	-30	178	159	-19	184	165	-19
入院患者延数 (千人)	2,299	1,985	-314	2,282	1,822	-460	2,309	1,982	-327	2,400	2,163	-237	2,396	2,172	-223
病床利用率 (%)	84.6%	72.9%	-11.7%	81.2%	64.6%	-16.6%	84.7%	72.6%	-12.1%	85.2%	76.5%	-8.7%	85.2%	76.9%	-8.4%

4月以降の手術件数減少の状況

有効回答病院数：137病院



4月～8月手術件数累計減少数



初診患者数の回復が見られないため、手術件数についても前月同様対前年約10,000件の減少となっており、累計96,640件の減少となっている。

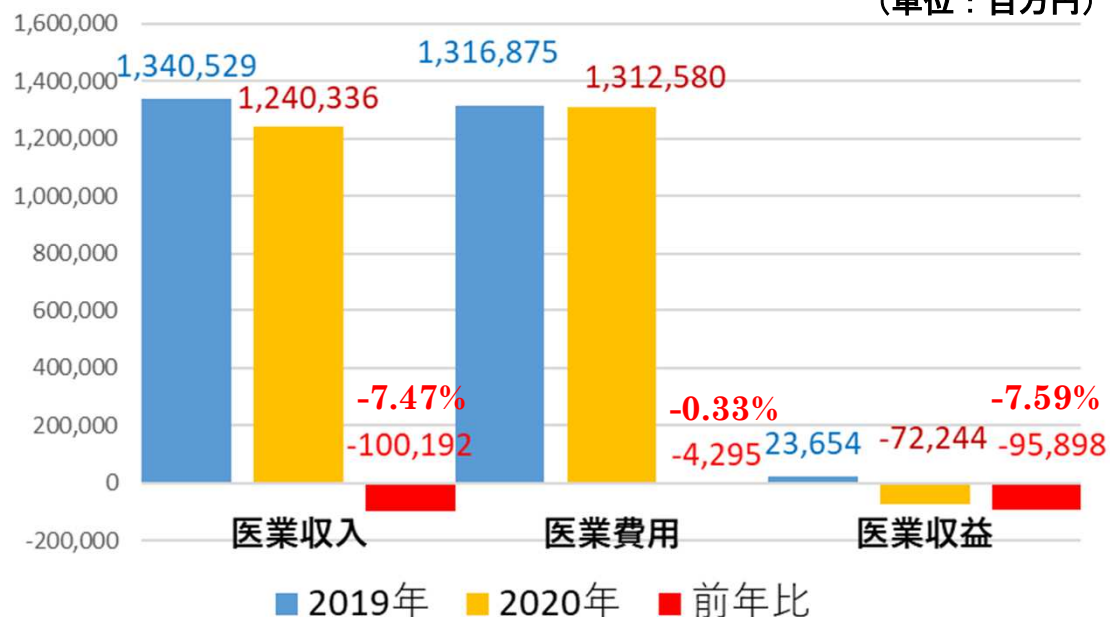
区 分	4 月			5 月			6 月			7 月			8 月		
	2019年	2020年	対前年増減	2019年	2020年	対前年増減	2019年	2020年	対前年増減	2019年	2020年	対前年増減	2019年	2020年	対前年増減
手術件数(件)	121,117	96,884	-24,233	115,365	77,855	-37,510	120,420	106,638	-13,782	137,431	126,662	-10,769	130,907	120,561	-10,346

新型コロナウイルス感染症患者の受け入れに伴う前年度との経営比較

有効回答病院数：136病院

医業収支の前年比較（4～8月累計）

（単位：百万円）



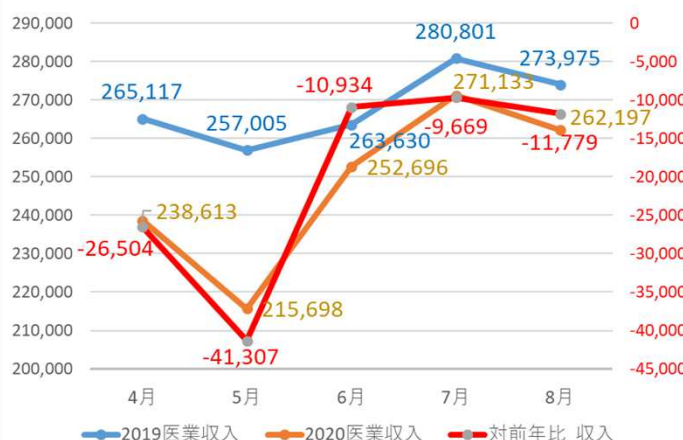
医業収支の状況（4～8月累計額）

（単位：百万円）

区 分	2019年	2020年	前年比	前年比率
医業収入	1,340,529	1,240,336	-100,192	-7.47%
医業費用	1,316,875	1,312,580	-4,295	-0.33%
医業収益	23,654	-72,244	-95,898	
医業利益率	1.8%	-5.8%	-7.59%	

患者数の回復の遅れと手術件数の減少により医業収入が伸びず、一方医業費用の減少は見られず、医業収益は依然マイナスが続いている。

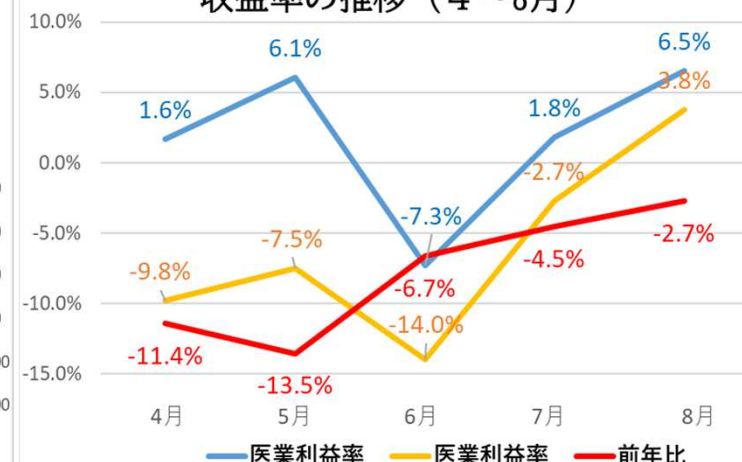
医業収入の推移（4～8月）



医業費用の推移（4～8月）



収益率の推移（4～8月）



新型コロナウイルス感染症に関する 大学病院の対応状況及び緊急包括支援金の受給状況

国公立大学病院においては、冬季におけるCOVID-19 患者増加に対応するため、各自治体からの要請に応じ病床の確保や医療体制の充実等の対応を講じてきている。

一方、補正予算による緊急包括支援交付金の支給については、申請(要求)金額の43%が決定しているのみで、9月15日からの追加支援については、進捗がほとんど見られない状況にあり、今後のCOVID-19患者増加対応に対する経営的対応に支障が生じる可能性が高い状態にある。

早急な追加支援に係る申請受付と支援金の支給の実施を切望する。

調査対象病院等

国公立大学病院(本院)82病院(一部本院に代わりCOVID-19医療を中心に担っている分院に変更有)

調査時期

令和2年11月2日～13日

緊急包括支援交付金の受給状況(総括)

有効回答病院:80病院

(2020年11月6日現在)

事業名	要求(予定)額(A)	決定額	協議中金額	決定額+協議中額(B)	不足額(A-B)
総計	134,878	58,554	29,066	87,620	47,258

支給率

43%

65%

【項目の意味】

要求額・・自治体から申請様式が示されて、それに基づき申請した金額

決定額・・要求(申請)により交付金支給が決定した額(未入金額も含む)

協議中金額・・申請様式により申請し、その内容について自治体と協議中の金額(未確定金額)

不足額・・要求(申請)額から決定額と協議中の金額が支給されるとして合算した金額と要求額差

【大学病院からみた主な課題】

1. 自治体からの申請方法等に関する連絡が遅く申請が進まない状況である。したがって、厚労省からの通知にはあるがまだ申請できていない事業もある。(追加病床確保料等)
2. 重症患者を受け入れていても重点医療機関として指定されない状況が続いた。
3. 重症医療機関であってもCOVID-19患者の状況によって病床確保料の単価が一般医療機関単価となる。
4. 病床確保料については、既に入金に至った病院もあるが、未だ協議中の病院もあり自治体間の進捗に大きな差が生じている
5. 申請手続きや慰労金の配分作業などに多大な事務作業量が必要となっている。

緊急包括支援交付金の受給状況(1)

○1次補正予算					(単位：百万円)
事業名	要求（予定）額(A)	決定額	協議中金額	決定額+協議中額(B)	不足額（A-B）
新型コロナウイルス感染症対策事業	10,617	6,880	130	7,010	3,608
新型コロナウイルス感染症患者等入院医療 機関設備整備事業	8,261	4,731	908	5,639	2,622
帰国者・接触者外来等設備整備事業	382	378	2	380	1
感染症検査機関等設備整備事業	1,299	861	220	1,082	217
DMAT・DPAT等医療チーム派遣事業	17	2	1	3	14
医療搬送体制等確保事業	3	13	0	13	-11
医療機関における新型コロナウイルス感染症の 外国人患者受入れのための設備整備事業	6	4	0	4	3
小 計	20,585	12,870	1,261	14,131	6,454
○2次補正予算					
事業名	要求（予定）額(A)	決定額	協議中金額	決定額+協議中額(B)	不足額（A-B）
新型コロナウイルス感染症重点医療機関体制 整備事業	53,490	29,147	9,452	38,599	14,891
新型コロナウイルス感染症重点医療機関等 設備整備事業	11,865	3,434	3,573	7,006	4,858
新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労 金交付事業	32,167	4,622	11,887	16,508	15,658
新型コロナウイルス感染症を疑う患者受入れ のための救急・周産期・小児医療体制確保 事業	8,234	3,342	1,302	4,644	3,590
医療機関・薬局等における感染拡大防止等 支援事業	271	53	87	140	131
小 計	106,027	40,597	26,301	66,898	39,129

緊急包括支援交付金の受給状況(2)

○ 新型コロナウイルス感染症対策予備費による医療機関等への更なる支援（9/15閣議決定）

（単位：百万円）

事業名	要求（予定）額(A)	決定額	協議中金額	決定額+協議中額(B)	不足額（A-B）
新型コロナウイルス感染症対応医療機関労災給付上乗せ補償保険加入支援事業	1	0	0	0	1
インフルエンザ流行期に備えた発熱患者の外来診療・検査体制確保事業	288	0	13	13	275
インフルエンザ流行期に備えた発熱患者の電話相談体制整備事業	1	0	0	0	1
インフルエンザ流行期における新型コロナウイルス感染症疑い患者を受け入れる救急・周産期・小児医療機関体制確保事業	1,084	22	384	406	678
小 計	1,374	22	397	419	955

※各事項別に区分できない支援金

事業名	要求（予定）額(A)	決定額	協議中金額	決定額+協議中額(B)	不足額（A-B）
区分できない支援交付金及び100万円未満	679	835	3	837	-159
支援交付金合計	128,664	54,323	27,962	82,285	46,379

○ 自治体独自の支援金

事業名	要求（予定）額(A)	決定額	協議中金額	決定額+協議中額(B)	不足額（A-B）
自治体独自の支援金（合計額）	6,214	4,231	1,104	5,335	879

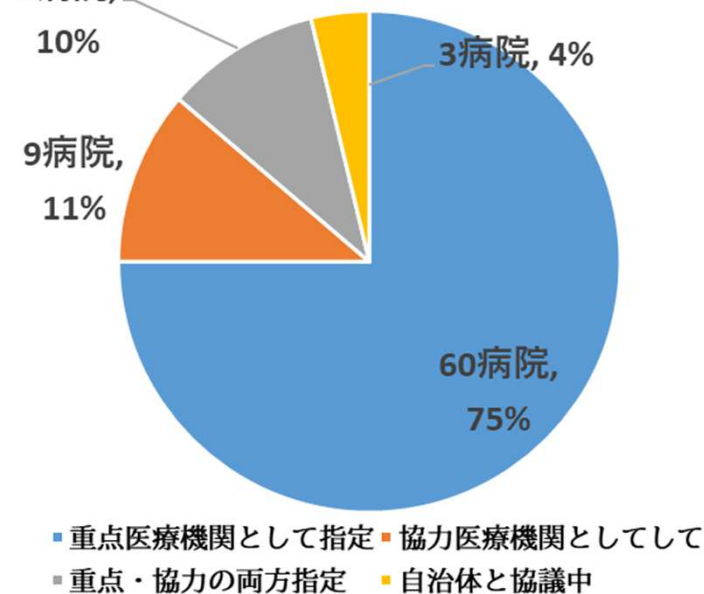
事業名	要求（予定）額(A)	決定額	協議中金額	決定額+協議中額(B)	不足額（A-B）
総 計	134,878	58,554	29,066	87,620	47,258

①要求(予定)額には、自治体からの通知待ちで要求できていない事業がある。（要求額0で集計）

②決定額に金額記入されているが、要求額に金額記入されていない（0円）大学もあるが、そのまま集計している。したがって、不足額欄にマイナス表示がある。

重点医療機関の指定状況

重点医療機関の指定状況

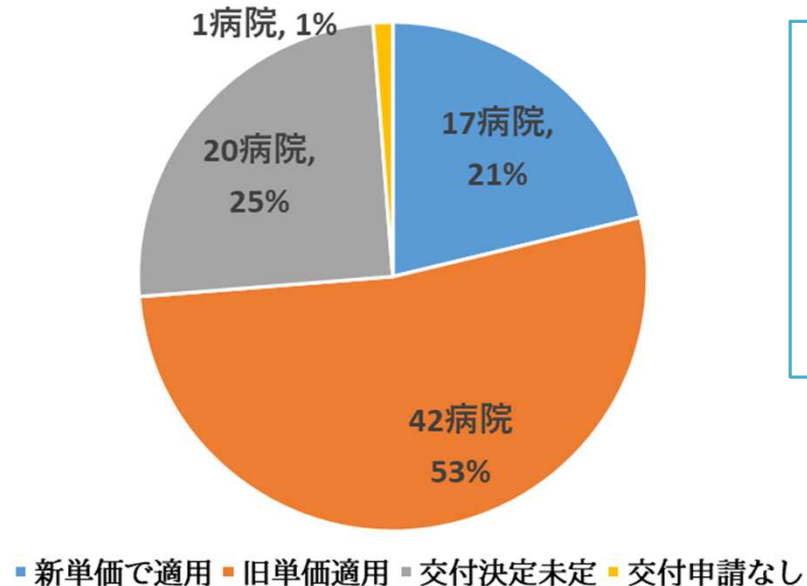


有効回答病院:80病院

有効回答病院:80病院

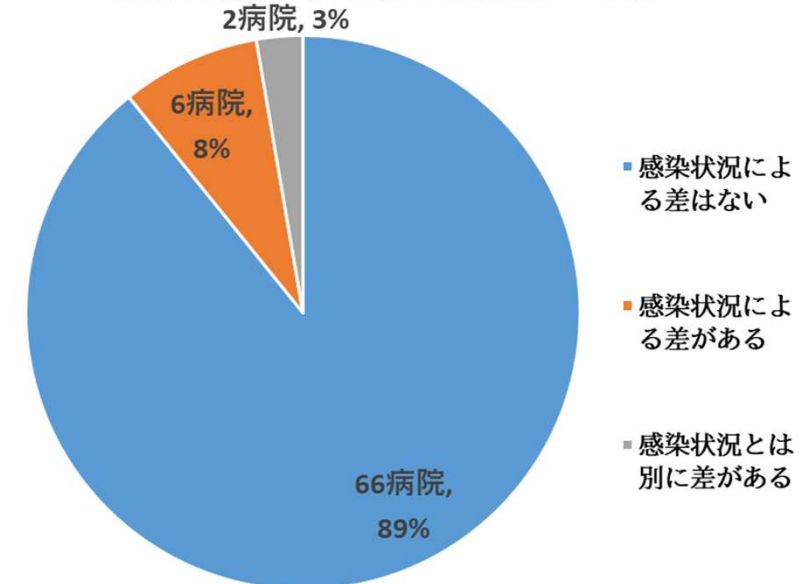
有効回答病院:74病院

病床確保料への新単価医適用状況



病床確保料については、6月通知による単価を旧単価、9月通知による単価を新単価とした。重点医療機関である特定機能病院等のICUの病床確保料の上限額
旧単価:301千円/日
新単価:436千円/日

感染状況による新単価適用の可否



病床確保状況と空床数

有効回答病院:81病院

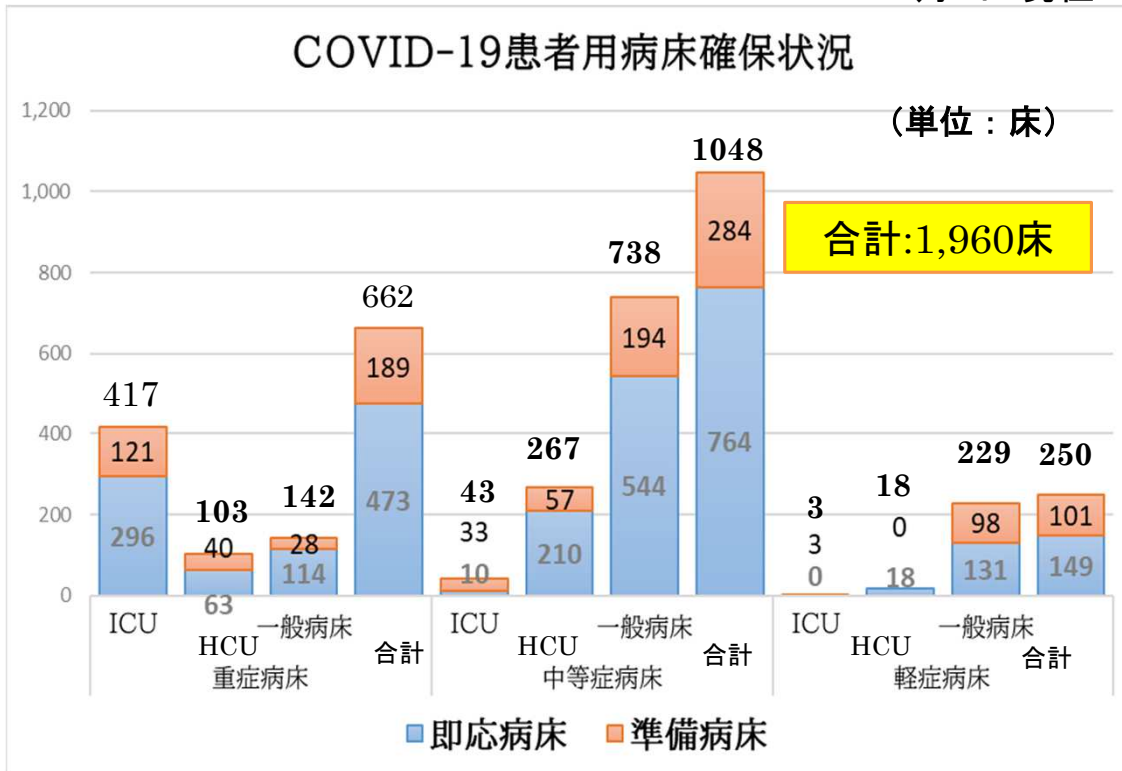
11月2日現在

COVID-19患者用病床確保状況

(単位: 床)

合計:1,960床

■即応病床 ■準備病床



COVID-19患者受入れ病床の延空床数の推移

(単位: 床)

累計延空床数:437,484床

■ICU ■HCU ■一般病床

